

職業実践専門課程の基本情報について

| 学校名 | | 設置認可年月日 | | 校長名 | | 所在地 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|---------------------------|-------------|--|----------------------|--|--|---------|---|------|--------|-------|------|-------|----------|------|----|----|---|----------------|---|----|---|---|--|--|--|
| 日本工学院八王子専門学校 | | 昭和62年3月27日 | | 千葉 茂 | | 〒192-0983 東京都八王子市片倉町1404番地1他 (電話) 042-637-3111 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 設置者名 | | 設立認可年月日 | | 代表者名 | | 所在地 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 学校法人片柳学園 | | 昭和31年7月10日 | | 千葉 茂 | | 〒144-8650 東京都大田区西蒲田5丁目23番22号 (電話) 03-3732-1111 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 分野 | 認定課程名 | | 認定学科名 | | | 専門士 | 高度専門士 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 文化・教養 | 芸術専門課程 | | グラフィックデザイン科 | | | 平成22年文部科学省認定 | - | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 学科の目的 | Macによるデザイン制作・画像加工の基礎から、ポスター・フライヤー・雑誌等印刷のためのコンピュータによる印刷入稿データ(DTP)技術の修得、デッサン・色彩・平面構成からグラフィック・イラストレーション等デザインセンスの基礎から応用を修得し、実践的な能力を備えた広告・印刷業界で活躍する人材を育成する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 認定年月日 | 平成27年2月17日 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 修業年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数 | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 | 時間 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 3 年 | | | | | | | | | 昼間 | 2,490 | 690 | 0 | 3,120 | 0 | 0 | | | | | | | | | | | |
| 生徒総定員 | | 生徒実員 | | 留学生数(生徒実員の内) | | 専任教員数 | | 兼任教員数 | | 総教員数 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 40人 | | 46人 | | 3人 | | 2人 | | 7人 | | 9人 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 学期制度 | ■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日 | | | | 成績評価 | | ■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 S:90点以上 A:80～89点 B:70～79点 C:60～69点 D:59点以下不合格 P:単位認定 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 長期休み | ■学年始:4月1日～ ■夏季:8月7日～9月9日 ■冬季:12月26日～1月6日 ■学年末:3月19日～3月31日 | | | | 卒業・進級条件 | | 【進級要件】 ①各学年の授業日数の4分の3以上出席していること ②所定の授業科目に合格していること ③期日までに学費等の全額を納入していること 【卒業要件】 ①卒業年次の授業日数の4分の3以上出席していること ②所定の授業科目に合格していること ③期日までに学費等の全額を納入していること | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 学修支援等 | ■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 欠席者に対しては、当日中に担任から電話・Eメール等で連絡することを基本とし、状況に応じて、数日続いた時点で保護者に連絡するなどの指導をしている。 | | | | 課外活動 | | ■課外活動の種類 卒業作品展覧会、ボランティア活動、体育祭、学園祭 ■サークル活動: 有 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 就職等の状況※2 | ■主な就職先・業界等(令和3年度卒業生) アイリスオーヤマ(株)、三松堂印刷(株)、(株)ビルボ、(株)エイト、(株)シオン、日本電算(株)、(株)クライム、(株)adapt retailing、ハンジヨウ(株) | | | | 主な学修成果(資格・検定等) ※3 | | ■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和3年度卒業生に関する令和4年5月1日時点の情報) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ■就職指導内容 個人面談、模擬面接、合同企業説明会、個別企業説明会、業界セミナー、キャリアデザイン、就職ガイダンス、オンラインでの作品公開 | | | | | | <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種別</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ビジネス能力検定</td> <td>③</td> <td>46</td> <td>40</td> </tr> </tbody> </table> | | | | 資格・検定名 | 種別 | 受験者数 | 合格者数 | ビジネス能力検定 | ③ | 46 | 40 | | | | | | | | | |
| | 資格・検定名 | 種別 | 受験者数 | 合格者数 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ビジネス能力検定 | ③ | 46 | 40 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <table border="1"> <tbody> <tr> <td>■卒業者数</td> <td>:</td> <td>44</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>■就職希望者数</td> <td>:</td> <td>40</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>■就職者数</td> <td>:</td> <td>35</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>■就職率</td> <td>:</td> <td>88</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>■卒業者に占める就職者の割合</td> <td>:</td> <td>80</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table> | | | | ■卒業者数 | : | 44 | 人 | ■就職希望者数 | : | 40 | 人 | ■就職者数 | : | 35 | 人 | ■就職率 | : | 88 | % | ■卒業者に占める就職者の割合 | : | 80 | % | ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) | | | |
| ■卒業者数 | : | 44 | 人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ■就職希望者数 | : | 40 | 人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ■就職者数 | : | 35 | 人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ■就職率 | : | 88 | % | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ■卒業者に占める就職者の割合 | : | 80 | % | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ■その他 (令和3年度卒業生に関する令和4年5月1日時点の情報) | | | | ■自由記述欄(受賞) 第12回 パンフー 学生Tシャツデザインコンテスト 最優秀賞 ESPINOSA JEREMIE KHAE CEE 審査員賞 神能 愛音 多摩地区専修学校協議会ガイドブックデザインコンペ受賞 1位 相沢勝己、2位 斎藤千桜、3位 大平和佳 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | |
|---------------------------------|---|
| <p>中途退学 の現状</p> | <p>■中途退学者 1名 ■中退率 1%</p> <p>令和3年4月1日時点において、在学者91名(令和3年4月1日入学者を含む) 令和4年3月31日時点において、在学者90名(令和4年3月31日卒業者を含む)</p> <p>■中途退学の本理由 病気療養・怪我治療</p> <p>■中退防止・中退者支援のための取組 担任と主任/科長による面談。懇談会・電話等による保護者との情報共有。 担任による指導のほか経済面では学費・奨学金相談窓口を設け、学生生活においてカウンセリングルーム等を設け個々の学生に適した指導・助言・相談等を行っている。 また、休学者にも復学(転科等)の指導・助言・相談も適時行っている。</p> |
| <p>経済的支援 制度</p> | <p>■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 【片柳学園入学免除制度】 学校法人片柳学園の設置する学校の卒業生の子女、兄弟姉妹および孫、または在校生の兄弟姉妹が入学する際に入学金を免除する制度</p> <p>【若きつくりびと奨学金制度】 社会に貢献する人材のさらなる育成を目的に、学ぶ意欲があり優秀な学生や経済的理由で就学が困難な学生に対し、返済不要の奨学金を給付する制度 (成績優秀者特待生・課外活動優秀者特待生・資格特待生・就学支援奨学金・再進学特待生・留学生特待生)</p> <p>【再入学優遇制度】 日本工学院専門学校または日本工学院八王子専門学校の二年制学科以上の学科を卒業または卒業見込みの方が、本校の他学科への再入学を希望する際、入学選考料・入学金の免除、および審査により授業料等を減免する制度</p> <p>【留学生特別給付制度】 私費留学生の出願者全員を対象とし、入学選考試験の成績優秀者には進学支援として、入学金の一部または全額を免除する制度</p> <p>【ミュージシャン特待生】 ミュージックアーティスト科に特待生として出願し、試験に合格された方は、入学費用のうち入学金を免除する制度</p> <p>【サッカー・テニス特待生】 スポーツ健康学科・スポーツ健康学科三年制に特待生として出願し、試験に合格された方は、成績によって以下のいずれかを免除する制度 (入学手続時納入金免除、入学費用のうち前期授業料免除、入学費用のうち入学金免除、入学費用のうち入学金の一部を免除)</p> <p>【スポーツ特待生】 スポーツ健康学科・スポーツ健康学科三年制・スポーツトレーナー科・スポーツトレーナー科三年制に特待生として出願し、試験に合格された方は、成績によって入学費用のうち入学金または入学金の一部を免除する制度</p> <p>■専門実践教育訓練給付: 非給付対象</p> |
| <p>第三者による 学校評価</p> | <p>■民間の評価機関等から第三者評価: 有 特定非営利活動法人 私立専門学校等評価研究機構、平成25年度(平成26年3月31日)受審 https://www.neec.ac.jp/education/accreditation/</p> |
| <p>当該学科の ホームページ URL</p> | <p>https://www.neec.ac.jp/department/</p> |

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除いたものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まれません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学状況等について記載します。

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

グラフィックデザイン分野に関し、適宜、企業等へのヒアリングを実施し、実務に関する知識、技術を調査して、カリキュラムに反映させる。カリキュラムについては年度ごとに総合的に検証する。授業科目のシラバスをもとに、科目担当教員と企業講師との間で意見交換を行い、内容や評価方法を定める。また、学習評価を踏まえ、授業内容・方法等について検証する。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

教育課程編成委員会は、校長を委員長とし、学科責任者、学科から委嘱された業界団体及び企業関係者から各3名以上を委員として構成する。

本委員会は、産学連携による学科カリキュラム、本学生に対する講義科目および演習、実習、インターンシップおよび学内または学外研修、進級・卒業審査等に関する事項、自己点検・評価に関する事項、その他、企業・業界団体等が必要とする教育内容について審議する。審議の結果を踏まえ、校長、副校長、学科責任者、教育・学生支援部員で検討し次年度のカリキュラム編成へ反映する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和4年4月1日現在

| 名 前 | 所 属 | 任 期 | 種 別 |
|--------|------------------------------------|----------------------------|-----|
| 浅野 健 | 印刷工業会 副会長 株式会社金羊社 代表取締役会長 | 令和4年4月1日～ 令和5年3月31日(1年) | ① |
| 才丸 大介 | 株式会社カオルコーポレーション 企画戦略室・室長 | 令和4年4月1日～ 令和5年3月31日(1年) | ③ |
| 荒井 良隆 | 株式会社文神 クリエイティブ制作部 デザイン課 | 令和4年4月1日～ 令和5年3月31日(1年) | ③ |
| 千葉 茂 | 日本工学院八王子専門学校 校長 | 令和4年4月1日～ 令和5年3月31日(1年) | |
| 山野 大星 | 日本工学院八王子専門学校 副校長 | 令和4年4月1日～ 令和5年3月31日(1年) | |
| 倉重 明 | 日本工学院八王子専門学校 教育・学生支援部 部長 | 令和4年4月1日～ 令和5年3月31日(1年) | |
| 坪井 勇次 | 日本工学院八王子専門学校 キャリアサポートセンター センター長 | 令和4年4月1日～ 令和5年3月31日(1年) | |
| 原田 俊信 | 日本工学院八王子専門学校 デザインカレッジ カレッジ長 | 令和4年4月1日～ 令和5年3月31日(1年) | |
| 山口 恵美子 | 日本工学院八王子専門学校 グラフィックデザイン科 科長 | 令和4年4月1日～ 令和5年3月31日(1年) | |

①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)

②学会や学術機関等の有識者

③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(3月・9月)

(開催日時(実績))

第1回 令和3年9月27日 13:00～15:00

第2回 令和3年3月10日 14:00～16:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

昨年9月に行った教育課程編成委員会では、コロナ禍での対面授業の重要性和Webの授業についてご指摘いただき、後期には対面授業を多く実施し、Web系課題としてECサイトのグラフィックデザインに取り組んだ。今年3月の委員会では作品の完成度から学生教員間のコミュニケーションの取り方を高く評価された。卒業制作の作品については動画作品等、幅広い分野での取り組みや完成度を高く評価された。時代の変化に合わせた、企業の課題にこたえるカリキュラムの検討を今後の課題としていただいた。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

実践的な指導を受けるにあたり、関連分野の実績や、知識、技術、制作管理能力に基づく指導力を有する講師の派遣協力が得られる企業を選定し、両社で合意したシラバスに基づき授業運営を行う。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

学科担当教員と企業派遣講師との間でデザイン技術や知識について意見を交換し、授業計画、評価方法、学生指導上の問題点、改善案などを計画し、実際に授業を行う。授業の成果物をもとに派遣講師が採点し、学科担当教員が成績評価・単位認定を行う。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

| 科目名 | 科目概要 | 連携企業等 |
|----------------|---|---------------------|
| グラフィックデザイン実習2B | タイポグラフィ、ピクトグラムなどの制作を通し、情報をグラフィカルに表現する技術を学ぶ。 | Katavami+ (カタバミプラス) |
| グラフィックデザイン実習3C | PCによるデザインとレイアウトについて学び、ポスターやカタログ等の入稿までのルールを学ぶ。 | 有限会社ブレイドデザイン |

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究（以下「研修等」という。）の基本方針

講義と実習、演習の精度を高めるため、学科関連企業の協力のもと、学科の内容や教員のスキルに合わせた最新の技術力と技能、人間力を修得する。また、学校全体の教員研修を実施することにより、学生指導力の向上を図り、次年度へのカリキュラムや学科運営に反映させる。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名 「communication＝creation」

（講師：znug design 根津 孝太）

期間：令和3年9月17日（金）

対象：グラフィックデザイン科教員

内容：家族型ロボット「LOVOT」など、工業製品のコンセプト企画とデザインを手掛けるプロダクトデザインの第一人者である講師をお迎えし講義を実施。デザイン・モノづくりの考え方を教員が吸収し、学生たちへの授業でフィードバックしていく。

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「学びを促すルーブリック（基礎編） ルーブリックの意義と作成方法」

（連携企業等：浦田 悠（うらた・ゆう） 大阪大学全学教育推進機構特任講師）

期間：令和3年11月17日（水）

対象：グラフィックデザイン科教員

内容：学習内容の何がどの程度身に付いたのか適切なフィードバックがなければ、関連科目の理解度にも影響し、学習意欲の向上を妨げる可能性もある。この問題を解決する一つ的手段として活用できる「ルーブリックを用いた評価」の基本について理解する。

研修名「学生指導（メンタル面）における対応について」

（講師：中川教授（東京工科大医療保健学部 教授））

期間：令和3年12月7日（火）

対象：グラフィックデザイン科教員

内容：学生の心の健康支援について（社会の動向、学生のタイプ別対応について具体事例を元に解説）

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「「コロナ禍でのエンターテインメント業界の変化と教育」

(講師:品田 英雄)

期間:令和4年8月

対象:グラフィックデザイン科教員

内容:社会の変化におけるエンターテインメント業界についての現状と展望、今後の教育へ活かすためのポイント

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「学生指導の新しいスキル」

(連携企業等:未定)

期間:令和4年8月または令和4年3月

対象:グラフィックデザイン科教員

内容:時代とともに変化する学生の気質を分析し、様々な指導方法を吸収する。

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

専修学校における学校評価ガイドラインに沿っておこなうことを基本とし、自己評価の評価結果について、学校外の関係者による評価を行い、客観性や透明性を高める。

学校関係者評価委員会として卒業生や地域住民、高等学校教諭、専攻分野の関係団体の関係者等で学校関係者評価委員会を設置し、当該専攻分野における関係団体においては、実務に関する知見を生かして、教育目標や教育環境等について評価し、その評価結果を次年度の教育活動の改善の参考とし学校全体の専門性や指導力向上を図る。また、学校関係者への理解促進や連携協力により学校評価による改善策などを通じ、学校運営の改善の参考とする。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

| ガイドラインの評価項目 | 学校が設定する評価項目 |
|----------------|--|
| (1) 教育理念・目標 | (1)理念・目的・育成人材像 |
| (2) 学校運営 | (2)運営方針(3)事業計画(4)運営組織(5)人事・給与制度(6)意思決定システム(7)情報システム |
| (3) 教育活動 | (8)目標の設定(9)教育方法・評価等(10)成績評価・単位認定等(11)資格・免許取得の指導体制(12)教員・教員組織 |
| (4) 学修成果 | (13)就職率(14)資格・免許の取得率(15)卒業生の社会的評価 |
| (5) 学生支援 | (16)就職等進路(17)中途退学への対応(18)学生相談(19)学生生活(20)保護者との連携(21)卒業生・社会人 |
| (6) 教育環境 | (22)施設・設備等(23)学外実習・インターンシップ等(24)防災・安全管理 |
| (7) 学生の受入れ募集 | (25)学生募集活動(26)入学選考(27)学納金 |
| (8) 財務 | (28)財務基盤(29)予算・収支計画(30)監査(31)財務情報の公開 |
| (9) 法令等の遵守 | (32)関連法令、設置基準等の遵守(33)個人情報保護(34)学校評価(35)教育情報の公開 |
| (10) 社会貢献・地域貢献 | (36)社会貢献・地域貢献(37)ボランティア活動 |
| (11) 国際交流 | |

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

学校関係者評価委員会会議の中で本校の行った自己点検の評価について
評価委員からの主な意見は次のとおりで、それについての活用(対応)方法は以下のとおりとなります。

- ・コロナ禍の予測不能の事態や学生への対応が実に丁寧になされ成果を上げていることが理解できました。理事長を先頭に新たな取り組みも着実に進められていることに敬服します。
- ・SDGsに関連する学校としての取り組み。実質、関連項目や実施している事はあるかもしれないが、説明のなかで「SDGs」という言葉が出てこなかったため、関連する内容には入れても良いと思います。
- ・各分野において情報は常に更新されているので、教職員の方々の知識・情報もアップデートが重要と考えます。月1回の研修の成果・効果を確認するような取組も検討してはいかがでしょうか。
- ・コロナ禍において情報の収集・管理については難しい点多いと思いますが、校友会・卒業生就職先とのコミュニケーション強化に努めていただければと思います。
- ・既に検討されていることと思いますが、保護者会もオンラインで開催するなど遠方でも参加できるような取組をされてもいいかと思えます(環境によってオンラインが難しい場合などは個別に電話対応など。すでに実施されていたらご容赦下さい)。
- ・コロナ禍及びワクチン接種も個人の考えで必須に出来ない中、日本工学院八王子専門学校様の対応を含めた活動は非常に参考となり、勇気をもらえるものでもありました。政府が明確な線引きをしていない現状では、企業も学校も探りさぐりにはなってしまいますが、多角的な面で情報交換を行い、この状況を乗り切っていければと思います。
- ・丁寧な説明有難うございました。コロナ禍において、教育目標に掲げる「スチューデントファースト」を実現することは容易ではないと思いますが、製作室や実習等の新設などの取組によって学生のモチベーションが上がることを期待します。また、私はテレビ技術会社の採用担当として、貴校からの応募者と毎年向き合っておりますが、近年、「どうしてもこの仕事に就きたい」という意気込みを持った学生さんが少なくなったように感じます。実際の現場で必要な技術は学校だけで習得できるものではないかもしれませんが、その魅力・楽しさをお伝えいただき、専門職に夢を持った「若きつくりびと」を多く輩出していただきたいと願っております。
- ・教職員の研修も外部のオンライン研修などを活用してはいかがでしょうか。外部のコンテンツを利用することで学内コンテンツを増やすヒントになるではないかと思えます。
- ・コロナ禍において進路決定率が上がったことは素晴らしいことであつたが退学率が上がっている学科が気になりました。
- ・株主総会もオンラインの時代ですので保護者会もオンラインで出来たのではないのでしょうか。
- ・工学院の名前に合ったネットワーク、ICT等の環境を整えて上げてください。
- ・時節柄、授業を実施する事や様々な学生支援に工夫をされている事が十分に理解する事が出来、いつものことですが、感心させられる事ばかりでした。今後は、学生への「心のケア」をして頂ければと思います。メンタルトレーニング的なものも取り入れても良いかと思えます。

以上、学校関係者評価委員会において討議された内容を踏まえ、次の4点について検討し活用する。

1. コロナ禍において、教育目標に掲げる「学生中心主義」を教職員一丸となり実行する。
2. 学生・保護者からの要望に応えられるよう、今後とも万全な体制を整える。
3. 質の良い授業(オンライン授業含め)を提供できるよう、教員のスキルアップのための研修等を充実させる。
4. withコロナの新しい時代における高専連携・地域貢献・地域連携を模索していく。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和4年4月1日現在

| 名前 | 所属 | 任期 | 種別 |
|--------|---|----------------------------|------------------|
| 森 健介 | 順天堂大学 非常勤講師 (元白梅学園高等学校副校長) | 令和4年4月1日～ 令和5年3月31日(1年) | 学校関連 |
| 金子 英明 | 日本工学院八王子専門学校 校友会会長 (セントラルエンジニアリング株式会社) | 令和4年4月1日～ 令和5年3月31日(1年) | 卒業生/ IT企業等委員 |
| 細谷 幸男 | 八王子商工会議所 専務理事 | 令和4年4月1日～ 令和5年3月31日(1年) | 地域関連 |
| 山本 哲志 | 株式会社フジ・メディア・テクノロジー 管理センター 総務部長 | 令和4年4月1日～ 令和5年3月31日(1年) | クリエイターズ 企業等委員 |
| 今泉 裕人 | 一般社団法人コンサートプロモーターズ協会 事務局長 | 令和4年4月1日～ 令和5年3月31日(1年) | ミュージック 企業等委員 |
| 才丸 大介 | 株式会社カオルデザイン 執行役員 企画戦略室 室長 | 令和4年4月1日～ 令和5年3月31日(1年) | デザイン 企業等委員 |
| 鈴木 浩之 | 株式会社田中建設 取締役 建築部長 | 令和4年4月1日～ 令和5年3月31日(1年) | テクノロジー 企業等委員 |
| 池田 つぐみ | NPO法人日本ストレッチング協会 理事 | 令和4年4月1日～ 令和5年3月31日(1年) | スポーツ 企業等委員 |
| 石川 仁嗣 | 医療法人社団 健心会 みなみ野循環器病院 事務長 | 令和4年4月1日～ 令和5年3月31日(1年) | 医療 企業等委員 |

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

ホームページ 令和4年9月30日

URL:<https://www.nec.ac.jp/public/>

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

教育目標や教育活動の計画、実績等について、企業や学生とその保護者に対し、必要な情報を提供して十分な説明を行うことにより、学校の指導方針や課題への対応方策等に関し、企業と教職員と学生や保護者との共通理解が深まり、学校が抱える課題・問題等に関する事項についても信頼関係を強めることにつながる。

また、私立学校の定めに基づき「財産目録」「貸借対照表」「収支計算書」「事業報告書」「監事による監査報告」の情報公開を実施している。公開に関する事務は、法人経理部において取扱い、「学校法人片柳学園 財務情報に関する書類閲覧内規」に基づいた運用を実施している。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

| ガイドラインの項目 | 学校が設定する項目 |
|--------------------|--------------------------|
| (1) 学校の概要、目標及び計画 | 学校の現況、教育理念・目的・育成人材像、事業計画 |
| (2) 各学科等の教育 | 目標の設定、教育方法・評価等、教員名簿 |
| (3) 教職員 | 教員・教員組織 |
| (4) キャリア教育・実践的職業教育 | 就職等進路、学外実習・インターンシップ等 |
| (5) 様々な教育活動・教育環境 | 施設・設備等 |
| (6) 学生の生活支援 | 中途退学への対応、学生相談 |
| (7) 学生納付金・修学支援 | 学生生活、学納金 |
| (8) 学校の財務 | 財務基盤、資金収支計算書、事業活動収支計算書 |
| (9) 学校評価 | 学校評価、令和3年度の項目別の自己評価表 |
| (10) 国際連携の状況 | |
| (11) その他 | |

(3) 情報提供方法

ホームページ

URL:<https://www.neec.ac.jp/public/>

授業科目等の概要

| (芸術専門課程グラフィックデザイン学科) 令和4年度 | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------------------------|-------|------|----------------|--|---------|------|-----|------|----|----------|----|----|----|----|---------|
| 分類 | 授業科目名 | | | 授業科目概要 | 配当年次・学期 | 授業時数 | 単位数 | 授業方法 | | | 場所 | | 教員 | | 企業等との連携 |
| | | | | | | | | 講義 | 演習 | 実験・実習・実技 | 校内 | 校外 | 専任 | 兼任 | |
| 必修 | 選択必修 | 自由選択 | | | | | | | | | | | | | |
| 1 | ○ | | ビジネススキル | 社会人に求められるマナーやコミュニケーション能力について学びます。 | 1・前 | 30 | 2 | ○ | | | ○ | | ○ | | |
| 2 | ○ | | キャリアデザイン1 | デザイナーとして働くための知識を身につけます。 | 1・後 | 30 | 2 | ○ | | | ○ | | | ○ | |
| 3 | ○ | | デザイン概論 | デザインの領域とその変遷について学びます。 | 1・前 | 30 | 2 | ○ | | | ○ | | | ○ | |
| 4 | ○ | | コミュニケーション論 | コミュニケーションにおけるデザインのあり方を学びます。 | 1・前 | 30 | 2 | ○ | | | ○ | | ○ | | |
| 5 | ○ | | 美術概論 | 美術史における歴史的な表現について学びます。 | 1・後 | 30 | 2 | ○ | | | ○ | | | ○ | |
| 6 | ○ | | DTPデザイン概論 | 印刷における文字と組版、配色、画像、編集物などの役割とルールについて学びます。 | 1・後 | 30 | 2 | ○ | | | ○ | | ○ | | |
| 7 | | ○ | 資格対策講座1 | 色彩検定などの資格取得に向けての講座です。 | 1・通 | 30 | 2 | ○ | | | ○ | | | ○ | |
| 8 | | ○ | 資格対策講座2 | 色彩検定などの資格取得に向けての講座です。 | 1・通 | 30 | 2 | ○ | | | ○ | | | ○ | |
| 9 | ○ | | 基礎デザイン実習A | 鉛筆によるデッサンやスケッチを通じて観察力、基礎描写力を身につけます。 | 1・前 | 60 | 2 | | | ○ | ○ | | | ○ | |
| 10 | ○ | | 基礎デザイン実習B | さまざまな素材を使いながら立体・空間構成力を身につけます。 | 1・前 | 60 | 2 | | | ○ | ○ | | ○ | | |
| 11 | ○ | | 基礎デザイン実習C | 形態、素材、色彩、構造について学び、平面構成力を身につけます。 | 1・前 | 60 | 2 | | | ○ | ○ | | | ○ | |
| 12 | ○ | | 基礎デザイン実習D | PC用デザインツールのIllustrator、Photoshopの知識と基礎技術を身につけます。 | 1・前 | 60 | 2 | | | ○ | ○ | | ○ | | |
| 13 | | ○ | グラフィックデザイン実習1A | グラフィックデザインに関する技術と知識を学び、作品を制作します。 | 1・前 | 60 | 2 | | | ○ | ○ | | ○ | | |
| 14 | | ○ | グラフィックデザイン実習1B | イラストレーションに関する技術と知識を学び、作品を制作します。 | 1・前 | 60 | 2 | | | ○ | ○ | | ○ | | |
| 15 | ○ | | 総合実習1 | 前期のまとめとして作品を制作します。 | 1・前 | 60 | 2 | | | ○ | ○ | | ○ | | |
| 16 | ○ | | グラフィックデザイン実習2A | 課題制作を通して、学科の専攻内容や表現特性について学びます。 | 1・後 | 60 | 2 | | | ○ | ○ | | ○ | | |
| 17 | ○ | | グラフィックデザイン実習2B | タイポグラフィ、ピクトグラムなどの制作を通し、情報をグラフィカルに表現する技術を学びます。 | 1・後 | 60 | 2 | | | ○ | ○ | | | ○ | |
| 18 | ○ | | グラフィックデザイン実習2C | PCによるデザインとレイアウトについて学び、入稿までのルールを学びます。 | 1・後 | 60 | 2 | | | ○ | ○ | | | ○ | |
| 19 | | ○ | 広告・雑誌デザイン実習 | ポスター、パッケージ、カタログなどの販売促進ツールや雑誌を制作します。 | 1・後 | 60 | 2 | | | ○ | ○ | | | ○ | |
| 20 | | ○ | イラスト・絵本実習 | さまざまな描画技法を学び、広告、雑誌、絵本、グッズのための作品を制作します。 | 1・後 | 60 | 2 | | | ○ | ○ | | | ○ | |

授業科目等の概要

| (芸術専門課程グラフィックデザイン学科) 令和4年度 | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------------------------|----|------|------|----------------|--|---------|----------|-------------|------|----|----------|----|----|----|----|---------|
| No. | 分類 | | | 授業科目名 | 授業科目概要 | 配当年次・学期 | 授業 時数 | 単 位 数 | 授業方法 | | | 場所 | | 教員 | | 企業等との連携 |
| | 必修 | 選択必修 | 自由選択 | | | | | | 講義 | 演習 | 実験・実習・実技 | 校内 | 校外 | 専任 | 兼任 | |
| 21 | ○ | | | 総合実習2 | 後期のまとめとして作品を制作します。 | 1・後 | 60 | 2 | | | ○ | ○ | | ○ | | |
| 22 | | ○ | | デザイン研修1 | 研修を通じて、デザイナーとしての視野を広げます。 | 1・後 | 30 | 2 | ○ | | | ○ | | ○ | | |
| 23 | ○ | | | キャリアデザイン2 | 自己分析に基づき進路を考えます。 | 2・前 | 30 | 2 | ○ | | | ○ | | ○ | | |
| 24 | ○ | | | キャリアデザイン3 | 就職活動に関するノウハウを学びます。 | 2・後 | 30 | 2 | ○ | | | ○ | | ○ | | |
| 25 | ○ | | | コンセプトワーク | マーケティングの手法を理解し、企画を立案するプロセスを学びます。 | 2・前 | 30 | 2 | ○ | | | ○ | | | ○ | |
| 26 | ○ | | | 作品研究1 | さまざまなデザイナー、表現者の作品を鑑賞します。 | 2・前 | 30 | 2 | ○ | | | ○ | | ○ | | |
| 27 | ○ | | | 作品研究2 | さまざまなデザイナー、表現者の作品を鑑賞します。 | 2・後 | 30 | 2 | ○ | | | ○ | | ○ | | |
| 28 | ○ | | | 知的財産権／リテラシー | 知的財産に関する知識とデザイナーに必要な批評眼を養います。 | 2・後 | 30 | 2 | ○ | | | ○ | | ○ | | |
| 29 | | ○ | | 資格対策講座3 | 色彩検定などの資格取得に向けての講座です。 | 2・通 | 30 | 2 | ○ | | | ○ | | | ○ | |
| 30 | | ○ | | 資格対策講座4 | 色彩検定などの資格取得に向けての講座です。 | 2・通 | 30 | 2 | ○ | | | ○ | | ○ | | |
| 31 | ○ | | | グラフィックデザイン実習3A | ダイアグラムなどの制作を通し、情報をグラフィカルに表現する技術を学びます。 | 2・前 | 60 | 2 | | | ○ | ○ | | ○ | | |
| 32 | ○ | | | グラフィックデザイン実習3B | 写真と動画の撮影、加工、編集について学び、映像をデザインします。 | 2・前 | 60 | 2 | | | ○ | ○ | | ○ | | |
| 33 | ○ | | | グラフィックデザイン実習3C | PCによるデザインとレイアウトについて学び、ポスターやカタログなどの入稿までのルールを学びます。 | 2・前 | 60 | 2 | | | ○ | ○ | | | ○ | ○ |
| 34 | | ○ | | 広告デザイン実習1 | 商品、イベントなどの販促ツールの企画・制作を行います。 | 2・前 | 60 | 2 | | | ○ | ○ | | | ○ | |
| 35 | | ○ | | 雑誌デザイン実習1 | 企画、取材、撮影、レイアウトといったプロセスを経験し、雑誌を制作します。 | 2・前 | 60 | 2 | | | ○ | ○ | | | ○ | |
| 36 | | ○ | | イラストレーション実習1 | さまざまなメディアに合わせたイラストレーションを制作します。 | 2・前 | 60 | 2 | | | ○ | ○ | | | ○ | |
| 37 | | ○ | | 絵本実習1 | ストーリー制作、描画、レイアウト、製本といったプロセスを学び絵本を制作します。 | 2・前 | 60 | 2 | | | ○ | ○ | | | ○ | |
| 38 | ○ | | | 総合実習3 | 前期のまとめとして作品を制作します。 | 2・前 | 60 | 2 | | | ○ | ○ | | ○ | | |
| 39 | | ○ | | グラフィックデザイン実習4A | 企業や商品のブランディングを企画・制作し、アートディレクターの役割を理解します。 | 2・後 | 60 | 2 | | | ○ | ○ | | ○ | | |
| 40 | | ○ | | グラフィックデザイン実習4B | PCを使ったグラフィックスキルのクオリティとスピードを向上するトレーニングを行います。 | 2・後 | 60 | 2 | | | ○ | ○ | | | ○ | |

授業科目等の概要

| (芸術専門課程グラフィックデザイン学科) 令和4年度 | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------------------------|-------|------|----------------|---|---------|------|-----|------|----|----------|----|----|----|----|---------|
| 分類 | 授業科目名 | | | 授業科目概要 | 配当年次・学期 | 授業時数 | 単位数 | 授業方法 | | | 場所 | | 教員 | | 企業等との連携 |
| | | | | | | | | 講義 | 演習 | 実験・実習・実技 | 校内 | 校外 | 専任 | 兼任 | |
| 必修 | 選択必修 | 自由選択 | | | | | | | | | | | | | |
| | ○ | | グラフィックデザイン実習4C | 写真や動画を使った作品の制作に取り組みます。 | 2・後 | 60 | 2 | | | ○ | ○ | | | ○ | |
| | ○ | | 広告デザイン実習2 | 商品、イベントなどの販促ツールの企画・制作を行います。 | 2・後 | 60 | 2 | | | ○ | ○ | | ○ | | |
| | ○ | | 雑誌デザイン実習2 | 企画、取材、撮影、レイアウトといったプロセスを経験し、雑誌を制作します。 | 2・後 | 60 | 2 | | | ○ | ○ | | | ○ | |
| | ○ | | イラストレーション実習2 | さまざまなメディアに合わせたイラストレーションを制作します。 | 2・後 | 60 | 2 | | | ○ | ○ | | | ○ | |
| | ○ | | 絵本実習2 | ストーリー制作、描画、レイアウト、製本といったプロセスを学び絵本を制作します。 | 2・後 | 60 | 2 | | | ○ | ○ | | | ○ | |
| ○ | | | ポートフォリオ制作 | 就職活動用に、自分自身をアピールするための作品集を制作します。 | 2・後 | 60 | 2 | | | ○ | ○ | | ○ | | |
| ○ | | | 総合実習4 | 後期のまとめとして作品を制作します。 | 2・後 | 60 | 2 | | | ○ | ○ | | ○ | | |
| | ○ | | インターンシップ1 | デザインの仕事を体験するため、実際に会社で短期研修を行います。 | 2・通 | 60 | 2 | | | ○ | | ○ | ○ | | |
| | ○ | | デザイン研修2 | 研修を通じて、デザイナーとしての視野を広げます。 | 2・通 | 30 | 2 | ○ | | | | ○ | ○ | | |
| ○ | | | キャリアデザイン4 | 就職活動に関するノウハウを学びます。 | 3・前 | 30 | 2 | ○ | | | ○ | | ○ | | |
| | ○ | | キャリアデザイン5 | 就職活動に関するノウハウを学びます。 | 3・後 | 30 | 2 | ○ | | | ○ | | ○ | | |
| | ○ | | 資格対策講座5 | 色彩検定などの資格取得に向けての講座です。 | 3・通 | 30 | 2 | ○ | | | ○ | | | ○ | |
| | ○ | | 資格対策講座6 | 色彩検定などの資格取得に向けての講座です。 | 3・通 | 30 | 2 | ○ | | | ○ | | | ○ | |
| | ○ | | グラフィックデザイン実習5A | 企業や商品のブランディングを企画・制作し、アートディレクターの役割を理解します。 | 3・前 | 60 | 2 | | | ○ | ○ | | | ○ | |
| | ○ | | グラフィックデザイン実習5B | PCを使ったグラフィックスキルのクオリティとスピードを向上するトレーニングを行います。 | 3・前 | 60 | 2 | | | ○ | ○ | | | ○ | |
| | ○ | | 広告デザイン実習3 | 商品、イベントなどの販促ツールの企画・制作を行います。 | 3・前 | 120 | 4 | | | ○ | ○ | | ○ | | |
| | ○ | | 雑誌デザイン実習3 | 企画、取材、撮影、レイアウトといったプロセスを経験し、雑誌を制作します。 | 3・前 | 120 | 4 | | | ○ | ○ | | | ○ | |
| | ○ | | イラストレーション実習3 | さまざまなメディアに合わせたイラストレーションを制作します。 | 3・前 | 120 | 4 | | | ○ | ○ | | ○ | | |
| | ○ | | 絵本実習3 | ストーリー制作、描画、レイアウト、製本といったプロセスを学び絵本を制作します。 | 3・前 | 120 | 4 | | | ○ | ○ | | | ○ | |
| ○ | | | 実践課題制作 | 企業や地域と連携した実践的な課題制作を行います。 | 3・前 | 180 | 6 | | | ○ | ○ | | ○ | | |

授業科目等の概要

| (芸術専門課程グラフィックデザイン学科) 令和4年度 | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------------------------|-------|------|-----------|-------------------------------------|---------|--------------|------------------|--------|--------|------------------------------|--------|--------|--------|--------|---------|
| 分類 | 授業科目名 | | | 授業科目概要 | 配当年次・学期 | 授業 時 数 | 単 位 数 | 授業方法 | | | 場所 | | 教員 | | 企業等との連携 |
| | | | | | | | | 講 義 | 演 習 | 実 験・ 実 習・ 実 技 | 校 内 | 校 外 | 専 任 | 兼 任 | |
| 必修 | 選択必修 | 自由選択 | | | | | | | | | | | | | |
| 61 | ○ | | 卒業制作 | 各自またはゼミのテーマに基づき3年間のまとめとしての作品を制作します。 | 3・後 | 420 | 14 | | | ○ | ○ | | ○ | ○ | |
| 62 | | ○ | インターンシップ2 | デザインの仕事を体験するため、実際に会社で短期研修を行います。 | 3・通 | 60 | 2 | | | ○ | | ○ | ○ | | |
| 63 | | ○ | デザイン研修3 | 研修を通じて、デザイナーとしての視野を広げます。 | 3・通 | 30 | 2 | ○ | | | | ○ | ○ | | |
| 合計 | | | | | | 63科目 | 3810単位時間(150単位) | | | | | | | | |

| 卒業要件及び履修方法 | 授業期間等 | |
|---|----------|-----|
| 卒業時に必修科目1890時間(76単位)および選択科目600時間(20単位)以上取得し、合計2490時間(96単位)以上取得すること。 | 1学年の学期区分 | 2期 |
| | 1学期の授業期間 | 15週 |